

寒地醸造法で灘の銘酒を超える

# 伊藤 忠吉

いとう ちゆうきち

出身地 湯沢市（旧雄勝町）

1877年（明治10年）～1953年（昭和28年）

灘の銘酒をこえる清酒作りをめざし、研究のすえ寒地醸造法を考案。全国清酒品評会で優等賞を獲得し、秋田の酒の名声を高めた。伊藤仁右衛門の義弟。



## 年譜

- 1877年 湯沢市（旧雄勝町）に生まれる。  
旧姓・戸沢、幼名・隆三。
- 1901年 初代伊藤忠吉の婿養子となり、酒造技術を習う。
- 1908年 大蔵省醸造試験所の第一回酒造講習を学ぶ。
- 1913年 両関、全国清酒品評会で東日本から初の優等賞に入賞。  
醸造法を公開し、見学者が相次ぐ。
- 1922年 伊藤恭之助らと秋田銘醸株式会社を創設。  
取締役役に就任。
- 1939年 同社社長に就任。雄平酒造組合長に就任。
- 1953年 湯沢市で没。76歳。